

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 685)	複雑性虫垂炎に対する治療方針についての検討
当院の研究 責任者(所属)	生田 義明 (熊本市民病院 消化器外科)
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	<p>急性虫垂炎に対する標準治療は、腹腔鏡下虫垂切除です。しかしながら、膿瘍形成性虫垂炎や穿孔性虫垂炎などの複雑性虫垂炎に対する緊急手術では、開腹手術への移行や回盲部切除などの過大侵襲を伴う手術を要することが問題となります。昨今、複雑性虫垂炎に対しては、抗生剤治療による保存的治療の後に行う待期手術 (Interval appendectomy) の有用性が報告されています。</p> <p>本研究は、複雑性虫垂炎に対する有効な術式とその至適な施行時期について明らかにすることを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	承認の日 から 西暦 2025 年 3 月 31 日まで
研究の方法	2019 年 10 月～2022 年 9 月に熊本市民病院で手術を施行した複雑性急性虫垂炎患者を対象とし、至適な治療法およびその時期について検討します。
個人情報の 取扱い	匿名化されているもののうち、その記述単体で特定の研究対象者を直ちに判別できる記述等を全部取り除くような加工がなされているものを使用します。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	熊本市民病院 消化器外科部長 生田 義明 Tel:096-365-1711

備 考	
-----	--